

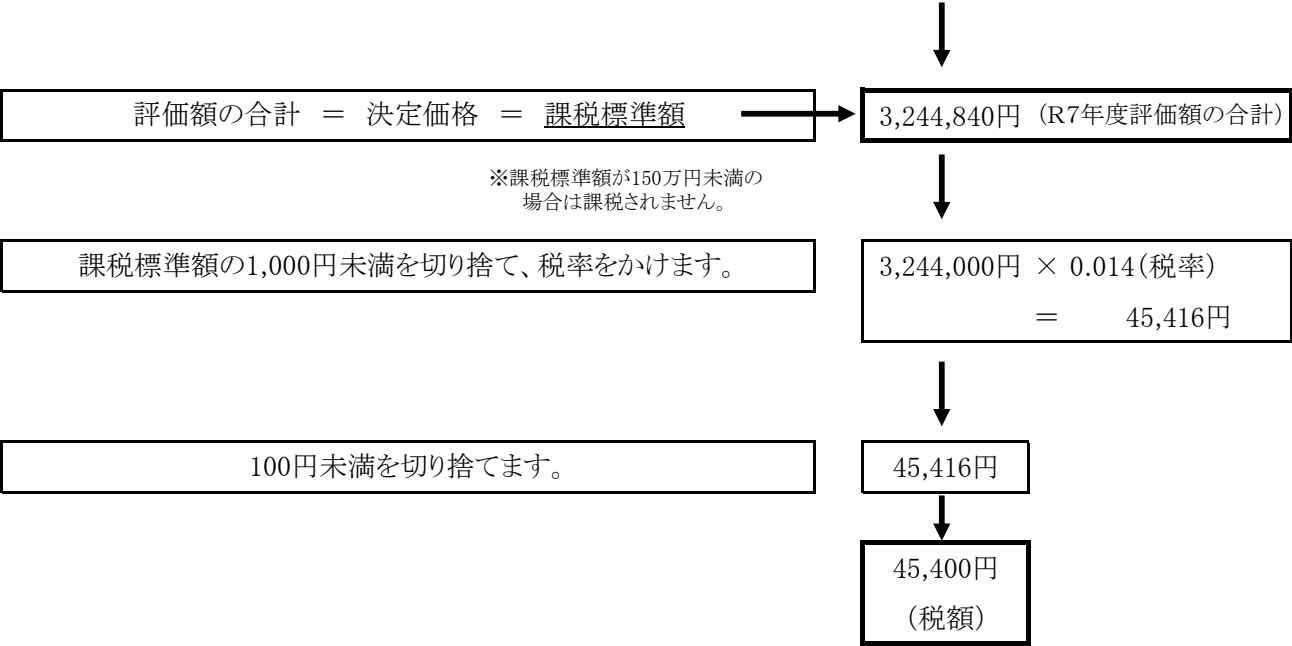
● 計算例

○ 所有する資産を次のとおりとします。

資産の名称等	取得年月	取得価額(円)	耐用年数	減価率
エアコン	令和5年11月	500,000円	6年	0.319
パソコン	令和6年4月	220,000円	4年	0.438
コンクリート舗装	令和6年6月	3,000,000円	15年	0.142

○ 令和7年度の評価額と税額を計算します。

資産の名称等	評価額			
エアコン	初年度	$500,000円 \times (1 - \frac{0.319}{2}) =$		420,000円 R6年度評価額
	次年度	$420,000円 \times (1 - 0.319) =$		286,020円 R7年度評価額
パソコン		$220,000円 \times (1 - \frac{0.438}{2}) =$		171,820円 R7年度評価額
コンクリート舗装		$3,000,000円 \times (1 - \frac{0.142}{2}) =$		2,787,000円 R7年度評価額



※ 課税標準の特例の適用を受ける資産がある場合の課税標準額は、該当資産の額にそれぞれ特例率を反映させた額になります。